



クリーンアップ。 ひぬま

Vol.19
2009.2

<http://www.hinuma-network.jp> ネットワークだより

第8回ひぬま環境フォーラムを開催

平成20年11月18日(火)いこいの村酒沼において、第8回ひぬま環境フォーラムを開催しました。

第1部では、酒沼水質浄化ポスター及び標語、第2回ひぬまフォトコンテスト、水質浄化活動功労者の表彰式を行い、水質浄化ポスター24名、水質浄化標語24名、フォトコンテスト10名、水質浄化功労者(1個人、2団体)を表彰しております。受賞されました皆様、誠にありがとうございます。今後ますますご活躍されますことを期待しております。

第2部では、当ネットワークの廣瀬誠会長から「ヒヌマイトンボからみた酒沼」というテーマでご講演をいただきました。貴重な資料や写真等をたくさん織り交ぜながら、酒沼に棲むトンボやヒヌマイトンボの生息条件から酒沼の地形、歴史に至る幅広い内容について、分かりやすくお話をいただき、大変有意義な一時を過ごすことができました。

当日は、ご多忙中にもかかわらず、ご来賓をはじめ大勢の方々にご参加いただき誠にありがとうございました。

【第2回ひぬまフォトコンテスト】

最優秀賞



いこい
「古からの風景」 山口 悟(銚田市)

ニコン賞



「朝霧」 竹内 治(水戸市)

【酒沼水質浄化ポスター最優秀賞】



最上 十和 (笠間小3年)



高島 海都
(稲田小4年)



石塚 知裕 (明光中2年)

【酒沼水質浄化標語最優秀賞】

- ひぬま川 しぜんにあふれ きらきらと
横田 翔 (駒場小3年)
- 守ろうよ きれいな酒沼と イトトンボ
岩間 就暁 (梅が丘小4年)
- 未来へと つなぐ酒沼に 咲く笑顔
池田 圭佑 (笠間南中3年)

～会長ごあいさつ～

～涸沼はかけがえない宝の沼～



廣瀬 誠会長

涸沼や涸沼川の水が霞ヶ浦や北浦の水とは幾分か違っていることに気付いていますか。そうです、太平洋から那珂川へと満ちてくる海水が沼に混じり、はっきりと塩分が含まれていると分かる汽水湖です。海と沼の水が日に2回行き来しながら混じり合い、南と北のたくさんの生き物の暮らしを支えています。

沼底には名産のヤマトシジミに似た貝もおり、昔はニシンばかりか、ハゼ、ワカサギ、シラウオなどもよく獲れました。魚を餌にする鳥では、いまカワウが我がもの顔に飛んでいます。ヨシ原では、オオヨシキリの巣も見つかりますが、数は昔より大分減りました。足下には泥の中に棲む陸カニの一種であるベンケイガニなどが歩き回ります。

ヒヌマイトトンボの幼虫は水草につかまって冬越し中です。

岸辺で筑波山を眺め、風に吹かれながら冬越しの鴨を数え、早咲きのヤナギの蕾に触れてみませんか。春は沼からやってくる。

あいさつに代えて、早春の涸沼の様子をお伝えしてみました。

～各賞の受賞者～

【涸沼水質浄化ポスター】

- 最優秀賞
 - 最上 十和 (笠間市立笠間小3年)
 - 高島 海都 (笠間市立稲田小4年)
 - 石塚 知裕 (茨城町立明光中2年)
- 優秀賞
 - 石塚 太陽 (笠間市立稲田小1年)
 - 鎌田 悠那 (鉾田市立徳宿小2年)
 - 松尾 拓己 (水戸市立緑岡小5年)
 - 山口 晋平 (茨城町立川根小6年)
 - 林田 智希 (鉾田市立旭中2年)
 - 石崎 雄太 (鉾田市立旭中3年)
- 優良賞
 - 中村 梨乃 (水戸市立緑岡小1年)
 - 東ヶ崎 海月 (茨城町立川根小1年)
 - 石崎 健介 (鉾田市立旭北小2年)
 - 高橋 凛 (水戸市立緑岡小3年)
 - 飯村 由佳 (笠間市立南小3年)
 - 浅野 真希 (水戸市立妻里小4年)
 - 市毛 遥 (茨城町立川根小4年)
 - 稲見 侑香 (笠間市立南小5年)
 - 江幡 鈴香 (水戸市立内原小6年)
 - 新川 井正 (鉾田市立徳宿小6年)
 - 川井 敦也 (鉾田市立旭中2年)
 - 清水 佳 (茨城町立明光中2年)
 - 武藤 有香 (鉾田市立旭中3年)
 - 横田 翔子 (鉾田市立旭中3年)

【涸沼水質浄化標語】

- 最優秀賞
 - 横田 翔 (茨城町立駒場小3年)
 - 岩間 就暁 (水戸市立梅が丘小4年)
 - 池田 圭佑 (笠間市立南中3年)
- 優秀賞
 - 岡村 亮汰 (笠間市立岩間一小1年)
 - 石本 恵一 (笠間市立南小2年)
 - 太田 早耶 (笠間市立笠間小4年)
 - 石崎 奈津美 (茨城町立駒場小6年)
 - 山口 大樹 (茨城町立桜丘中2年)
 - 大畠 遥 (笠間市立南中3年)
- 優良賞
 - 高野 大翔 (笠間市立南小1年)
 - 深澤 実紅 (笠間市立宍戸小2年)
 - 大川 明香里 (大洗町立大貫小2年)
 - 柴 唯人 (笠間市立南小3年)
 - 高信 佑夏 (大洗町立磯浜小3年)
 - 吉武 佳音 (水戸市立梅が丘小4年)
 - 中條 桃花 (水戸市立常磐小5年)
 - 竹田 優美 (水戸市立常磐小6年)
 - 長谷川 実希 (笠間市立笠間小6年)
 - 丸山 理彩 (大洗町立磯浜小6年)
 - 若菜 優平 (笠間市立岩間中1年)
 - 赤澤 眞耶 (笠間市立岩間中3年)
 - 青木 望 (笠間市立南中3年)
 - 鈴木 直人 (鉾田市立鉾田南中3年)
 - 藤井 みちる (茨城町立桜丘中3年)

【第2回ひぬまフォトコンテスト】

- 最優秀賞 山口 悟 (鉾田市)
- 優秀賞 柏 陸 雄 (水戸市)
- 優良賞 永井 洋 (ひたちなか市)
- 大塚 克之 (水戸市)
- 小林 帆 (水戸市)
- 小古 豊一 (水戸市)
- 大貫 真奈美 (鉾田市)
- 小池 克彦 (茨城町)
- 松本 周子 (栃木県宇都宮市)
- ニコン賞 竹内 治 (水戸市)

【水質浄化活動功労者】

- 萩野谷 建夫 (笠間市)
- さわやか大場をつくる会 (水戸市)
- 水戸市石川川を守る会 (水戸市)

(敬称略)

各入選作品は、クリーンアップひぬまネットワークのホームページ www.hinuma-network.jp でご覧いただけます。

～環境は地球規模で考え、足下から行動～

イオンリテール(株) 関東カンパニー茨城事業部
ジャスコ土浦店開設 吉井 博雄



昨年度の笠間市立佐城小学校への花苗贈呈

私は自然の中にいるのが大好きです。若い頃はよく槍ヶ岳、穂高等山の縦走をしました。涸沼のお花畑、黒ユリ、コマクサの群生、カモシカ、雷鳥などを見て感動したのを覚えています。また、小さい頃は、夏になると涸沼、千波湖、那珂川に泳ぎに行くのも楽しみの一つでした。

近年、住宅地開発などによって身近な自然が失われつつありますが、幸いにも茨城には、まだまだ里地・里山などの自然がたくさん残っています。

私は今、イオングループのジャスコ土浦店開設準備をしております。それまでは、ジャスコ笠間店に勤務し、クリーンアップひぬまネットワークの各種事業にも皆様と一緒に参加させていただきました。イオングループでは環境理念として「お客様を原点に平和を追求し人間を尊重し、地域社会に貢献する」と謳っており、「企業の社会的責任」として単に

利益を上げるだけでなく、社会貢献活動など社会の一員としての大きな責務も果たすべきものと考えております。

その一環としまして、ジャスコ笠間店におきましても、環境学習の支援としまして、地域の小中学校と連携を図り、ジャスコ店舗内での社会科見学、インターシップ等を積極的に受け入れております。また、笠間市にある「エコフロンティアかさま」2階の学習バビリオンにイオンの環境コーナーを設置させていただき、環境活動等への取り組みを紹介させていただいております。

緑化の推進では、地元の4小学校へ毎年「花の苗」の贈呈を行い「花いっぱい運動」にも微力ながら協力をさせていただいております。

毎月11日に行う環境美化活動では、パート社員から正社員まで店舗の全従業員に呼びかけ、店舗周辺の涸沼川や間黒川、道路脇の清掃活動を行っており、年間で延べ2,200名が参加しております。

今後もジャスコ笠間店やクリーンアップひぬまネットワークでの経験を生かし、異動先のジャスコ土浦店(今年5月下旬OPEN)においても社会貢献活動、そして次世代へ引き継げる環境保全活動を積極的に実践してまいりたいと考えております。

～涸沼川支流の二反田川にサケが遡上していた～

かさま環境を考える会 坪野 敏美

平成19年10月16日、水質調査中の仁古田橋下で、仲間が涸沼川を遡上している大きな魚3匹を発見しました。数日後、市役所の環境保全課でこの話をしたところ、市が毎年開催している「涸沼川探検隊」の浜田篤信先生を紹介いただき、同氏から「季節がらサケに違いない」というお電話をいただいたときは“やっぱり”とこれからの事に色々と考えを巡らせ、楽しい気持ちになったのを覚えております。

その後、得意になって、あちこちで言い触らしておりましたところ、市内南吉原の二反田川では、毎年サケが遡上して産卵しているという話を耳にしました。

それではとばかりに、今年は10月中旬から早々に期待に胸をときめかせ、涸沼川を覗きに行きましたがなかなかサケに出会うことはできず、ようやく11月1日に涸沼川の友部浄水場付近で2匹、支流の二反田川で8匹を発見することができました。更に、4日に10匹、5日に20匹発見したと仲間から電話があり、私も負けてはいられないと、6日に15匹、10日に6匹を確認することができました。

その中でも、川の中でサケの雄同士が喧嘩しながら雌の後を追ひ、水しぶきを上げながら産卵行動をとる姿を見た時は大変感動しました。

文献によりますと那珂川から迷い込んだ「迷いサケ」とありましたが、二反田川の産卵条件が良く(COD2mg/L)、二反田川のサケとして定着しているのではないかと考えております。

こうした事をきっかけに他の涸沼川支流でも、みんなで環境浄化に取り組み水質を改善し、稚魚放流したサケが4年後に戻ってくるときは、きれいな川で迎えられるようにしたいものです。



賛助金のご協力ありがとうございました

ネットワーク活動の充実を図るため、賛助金(1口10,000円)を事業所会員、団体会員の皆様にお願ひしましたところ、下記の23事業所・団体から合計330,000円のご協力をいただきましたので、御礼申し上げますとともに皆様にお知らせいたします。

今回ご協力いただきました賛助金は、啓発物品の作成費に充てさせていただきます。

今後とも引き続きご理解、ご協力をお願いいたします。

【10口】 (財)霞ヶ浦水質浄化推進振興財団

【2口】 日本たばこ産業(株)友部工場

【1口】 あさ川製菓(株)

(有)井戸ライフ

石岡ゴルフクラブウエストコース

(株)茨城県中央食肉公社

(株)さしろ

大洗町商工会

茨城県生活協同組合連合会

(株)山新

稲田石材商工業協同組合

JFE環境サービス(株)

(社)園芸いばらき振興協会

笠間市商工会

茨城中央農業協同組合

(社)水戸観光協会

(株)常陽銀行公務渉外部

(株)タカタ

(財)茨城県環境保全事業団

日東電気(株)

茨城町商工会

茨城旭村農業協同組合

(社)笠間観光協会(敬称略)

第3回ひぬまフォトコンテスト作品募集のお知らせ

第3回ひぬまフォトコンテストの作品を募集いたします。

湖沼流域の自然や人々の暮らし等、あなたが未来に残したい湖沼の風景を写真を通して表現してみませんか。皆様から多数のご応募をお待ちしております。

【応募規定】

- ・テーマは、湖沼流域の①自然風景、②動植物、③人々の暮らし等です。
- ・作品は、カラー四ツ切サイズとします。(高校生以下はサービス判でも可能)
- ・応募は1人10点以内とし、原則として応募作品は返却しません。
- ・応募作品のうち最優秀賞1点、優秀賞2点、優良賞5点、ニコン賞1点を表彰いたします。
- ・応募締切:平成21年9月30日(水)※当日消印有効です。

※応募に関しては、ネットワーク事務局までお問い合わせ願ひます。

読者プレゼントクイズ「ナンバーナイン」に挑戦!

	3			8		9	
	8	7				<input type="text"/>	2
		9	7	6			
	4	3		9	8	6	
1				<input type="text"/>			7
	9	8	3		2	5	
			9	5	3		
9	<input type="text"/>				1	2	
	6	4				7	

タテ(9列)・ヨコ(9行)・マス(9桁)に1から9の数字がそれぞれ入ります。

3つの□に入る数字の合計はいくつになるでしょうか。

応募いただいた正解者の中から抽選で5名の方に図書カード(1,000円分)をプレゼントしますので、皆さん是非挑戦してください。

【応募方法】

官製ハガキにクイズの答え及び住所・氏名・電話番号を記入のうえ、下記のネットワーク事務局までお送りください。

当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。

※平成21年3月25日(水)の消印有効です。

発行:クリーンアップひぬまネットワーク

〒310-8555 水戸市笠原町 978-6 環境対策課内

電話 029-301-2968 FAX029-301-2969

ホームページ <http://www.hinuma-network.jp>